

幼大連携英語プログラム 年長児保護者参観

本学園では、幼稚園と大学が連携を取りながら、英語教育のプログラムを開発しています。先日は、英語を学ぶ子どもたちの様子を見ていただく年長児の参観授業がありました。

指導は、幼稚園から高校を通して長年本学園の英語教育に関わってこられたトイ先生と子ども教育学部のザック先生です。カリキュラムは幼稚園と大学の早期英語教育専門家が一緒に作りました。



テーマは「おせち」

1. 2人のネイティブの先生がどんなおせちが好きだとか、自分の国ではおせちの代わりにホリディシーズンには何を食べるかといったスモールトーク*を、ターキーの写真などを見せながらしました。

2. 楽しいおせちの絵本の読み聞かせを聞きました。かなり長くてストーリー性のある話ですが、英語での What's this?という問いかけにみんな black beans(黒豆) fish cake(かまぼこ)などと元気な声で答えています。おもしろい場面では笑い声も出ていました。

3. 自分の描いた好きなおせちの絵を見せながら Show and tell*をしました。参観にきてくださったおうちの人にその絵を見せながら発表をした後、英語で How about you?と聞くこともできました。(おうちの人も手元に配られたおせちのリストから好きなおせちを英語で答えてもらいました)

4. 英語の歌をその歌詞の意味に合わせて大好きなお家の人に向かって振り付きで歌いました。

*スモールトークー英語でのちょっとした雑談のこと 興味を惹きつけ英語を聞こうとする姿勢を育てる目的で行うこともある。

*Show and tellー絵や実物を見せながら話をする 英語教育では人の前で発表をする練習のためによく使われる指導



参観はわずか 20 分でしたが、子どもたちが英語だけでたくさんのことを理解し、本当に伝えたい思いを堂々と発表している様子は見ていただけたかと思います。

また引き続き、ザック先生によるミニ英語レッスンと田縁教授から子どもの英語教育で大切にしたいことに関してミニレクチャーを保護者対象に行いました。

これからも、光華幼稚園と大学(こども教育学部)は連携しながら、未来を拓く子どもたちのための最良・最先端の英語教育を進めていきたいと思っています。